

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年11月9日(2017.11.9)

【公開番号】特開2017-99908(P2017-99908A)

【公開日】平成29年6月8日(2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2017-3269(P2017-3269)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月29日(2017.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な始動口と、
 識別情報を変動表示及び停止表示可能な識別情報表示部と、
 情報を出力可能な情報出力部と、
 遊技の進行を制御する主遊技部と、
 情報出力部への情報出力を制御する副遊技部と
 を備え、
 主遊技部は、
 始動口への入球に基づき乱数を取得する乱数取得手段と、
 乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するま
 で当該取得された乱数を一時記憶して保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と、
 ある保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該ある保留
 を消化して、当該ある保留に係る前記乱数に基づく当否判定結果に従い、識別情報表示部
 にて識別情報を変動表示させた後に停止識別情報を停止表示するよう制御する識別情報表
 示制御手段と、
 識別情報表示部に停止表示された停止識別情報が所定態様であった場合、遊技者にとっ
 て有利な特別遊技を実行し得る特別遊技制御手段と
 を備え、
 副遊技部側で実行される情報出力に際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信可能であ
 って、ある保留が新たに生起した場合には、当該ある保留に関する識別情報の変動表示開
 始条件を充足するよりも前に、当該ある保留に係る前記乱数に関する保留情報を副遊技部
 へ送信可能に構成されており、
 副遊技部は、
 主遊技部から送信された遊技情報に基づき、情報出力部にて出力される内容を制御可能
 に構成されており、
 識別情報が変動表示された後から停止表示されるまでを変動単位とし、ある変動単位が
 行われている期間中において演出用情報を出力し得るよう構成されており、
 ある変動単位が行われている期間中において出力される演出用情報は、当該ある変動単
 位の終了後における特別遊技の実行期待度を予告する内容となり、且つ、遊技者によって

操作可能な操作部材の操作を促す内容である特定演出用情報が併せて出力され得るよう構成されており、

所定条件を充足した後から所定回数の変動単位が行われるまで、特別遊技の実行期待度が高い状況である旨を示す特定演出状態が継続する場合において、当該所定回数の変動単位における最終回より前となる変動単位において演出用情報が出力される際には、次回以降の変動単位における特別遊技の実行期待度が事前に予告されるよう構成されており、当該所定回数の変動単位における最終回となる変動単位において演出用情報が出力される際には、当該所定回数の変動単位における最終回より前となる変動単位において演出用情報が出力される際よりも、特定演出用情報が出力され易いよう構成されており、

前記特定演出状態として、第1特定演出状態と第2特定演出状態とを有し、

第1特定演出状態において、第2特定演出状態では出力されない演出を出力可能に構成されており、

特定演出状態において最終回より前となる変動単位では、今回の変動単位及び次回以降の変動単位における特別遊技の実行期待度を報知可能である一方、

特定演出状態において最終回となる変動単位では、今回の変動単位における特別遊技の実行期待度は報知可能であるものの、次回以降の変動単位における特別遊技の実行期待度は報知されないよう構成されている

ことを特徴とするぱちんこ遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本態様に係るぱちんこ遊技機は、

遊技球が入球可能な始動口と、

識別情報を変動表示及び停止表示可能な識別情報表示部と、

情報を出力可能な情報出力部と、

遊技の進行を制御する主遊技部と、

情報出力部への情報出力を制御する副遊技部と

を備え、

主遊技部は、

始動口への入球に基づき乱数を取得する乱数取得手段と、

乱数取得手段により乱数が取得された場合、識別情報の変動表示開始条件を充足するまで当該取得された乱数を一時記憶して保留が生起するよう制御する乱数一時記憶手段と、

ある保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足した場合において、当該ある保留を消化して、当該ある保留に係る前記乱数に基づく当否判定結果に従い、識別情報表示部にて識別情報を変動表示させた後に停止識別情報を停止表示するよう制御する識別情報表示制御手段と、

識別情報表示部に停止表示された停止識別情報が所定態様であった場合、遊技者にとって有利な特別遊技を実行し得る特別遊技制御手段と

を備え、

副遊技部側で実行される情報出力に際して必要な遊技情報を副遊技部側へ送信可能であって、ある保留が新たに生起した場合には、当該ある保留に関する識別情報の変動表示開始条件を充足するよりも前に、当該ある保留に係る前記乱数に関する保留情報を副遊技部へ送信可能に構成されており、

副遊技部は、

主遊技部から送信された遊技情報に基づき、情報出力部にて出力される内容を制御可能に構成されており、

識別情報が変動表示された後から停止表示されるまでを変動単位とし、ある変動単位が行われている期間中において演出用情報を出力し得るよう構成されており、

ある変動単位が行われている期間中において出力される演出用情報は、当該ある変動単位の終了後における特別遊技の実行期待度を予告する内容となり、且つ、遊技者によって操作可能な操作部材の操作を促す内容である特定演出用情報が併せて出力され得るよう構成されており、

所定条件を充足した後から所定回数の変動単位が行われるまで、特別遊技の実行期待度が高い状況である旨を示す特定演出状態が継続する場合において、当該所定回数の変動単位における最終回より前となる変動単位において演出用情報が出力される際には、次回以降の変動単位における特別遊技の実行期待度が事前に予告されるよう構成されており、当該所定回数の変動単位における最終回となる変動単位において演出用情報が出力される際には、当該所定回数の変動単位における最終回より前となる変動単位において演出用情報が出力される際よりも、特定演出用情報が出力され易いよう構成されており、

前記特定演出状態として、第1特定演出状態と第2特定演出状態とを有し、

第1特定演出状態において、第2特定演出状態では出力されない演出を出力可能に構成されており、

特定演出状態において最終回より前となる変動単位では、今回の変動単位及び次回以降の変動単位における特別遊技の実行期待度を報知可能である一方、

特定演出状態において最終回となる変動単位では、今回の変動単位における特別遊技の実行期待度は報知可能であるものの、次回以降の変動単位における特別遊技の実行期待度は報知されないよう構成されている

ことを特徴とするぱちんこ遊技機である。